



第201号(令和2年7月)
今号の写真:鈴なりの南郷トマト

《 目 次 》

- 今月のトピックス
 - ・ 子どもの田植え体験
 - ・ **【重要なお知らせ】**米の放射性物質検査の方法が変わります
 - ・ 南会津発！木製品ブランドのご紹介！
 - ・ 「エコ農産物」マークシールを提供しています
 - ・ 台風19号災害の各地復旧状況
- 農林事務所からのお知らせ
 - ・ 熱中症対策、農作物の高温時対策を行いましょ！
 - ・ カシノナガキクイムシの対策について
 - ・ あいづ“まるごと”ネット会員募集中！
- コラム
 - ・ キラリと光る南会津の6次化商品～ホワイトアスパラドレッシング～
 - ・ 職員のつぶやき～南会津のうりん雑感～
- 新型コロナウイルス感染症の支援情報

令和2年7月1日発行 福島県南会津農林事務所

トピックス

子どもの田植え体験

「かえるの学校いな」は、南会津町伊南地区にあるNPO法人「いな夢クラブ」に所属する団体で、有機農法を使用した昔ながらの農作業体験や生きものとのふれ合いを通じ、食や環境の大切さを再認識してもらう活動をしています。

6月6日（土）に「かえるの学校いな」の主催で田植え体験が行われました。当日は晴天の下、地域から募った約30名が一生懸命一株一株、手作業で苗を植えていきました。参加した子ども達は手植えをすることで米作りの大変さを実感し、農業や食への関心が高まったようです。今後は伊南小学校の児童とともに生育調査や雑草取りを行い、稲刈りまで大切に育てていきます。南会津農林事務所もこの活動に協力しています。

（農村整備部）



田植えを行う子どもたち

【重要なお知らせ】 米の放射性物質検査方法が変わります

これまで米の放射性物質検査は、全量全袋検査を実施していましたが、令和2年産米は抽出によるモニタリング検査となります。

具体的には、以下の旧町村ごとに、3か所（3名の生産者）から玄米のサンプルを採取し検査します。

- 下郷町：旧檜原村、旧旭田村、旧江川村
- 只見町：旧明和村、旧朝日村、旧伊北村
- 南会津町：旧田島町、旧荒海村、旧檜沢村、
旧富田村、旧大宮村、旧伊南村、
旧大川村、旧館岩村

検査結果が出るまで出荷・販売は自粛してください。 3か所とも50ベクレル以下であることが確認されれば、旧町村ごとに出荷・販売の自粛解除となります。ただし、50ベクレルを超えた場合は検査点数を増やして検査を継続しますので、結果が出るまで出荷・販売を控えてください。



「里山のつぶ」

できるだけ出荷・販売に支障が出ないように、米の収穫が早い生産者から検査サンプルを採取しますので、生産者及び米集荷販売業者の皆様にはご理解とご協力をお願いします。

（農業振興普及部）

南会津発！木製ブランドのご紹介！

南会津町田島に事務所を構える株式会社マストロ・ジェッペットが「ふくしま県産材競争力強化支援事業」を活用して新製品の開発を行い、南会津発木製品の新ブランド「Wood 4(for) Good」を立ち上げました。南会津地域が誇る良質な広葉樹材の質感と「布」や「皮」を組み合わせることで、多種多様な色彩・風合い・デザインの木製品を生み出しています。

「木で良いモノ」というブランド名のとおり、木を使った「良いモノ」を提案し、生活に潤いをもたらすとともに、地域資源である木材を適切に活用し、地域の森林環境の保全や林業活性化にもつながっています。

日常生活で使う小物だからこそこだわりたい、愛着を持って長く使いたいというあなたに南会津から「良いモノ」を。オンラインストアでの販売も行っていますので、是非ご覧ください。全国発送も行っています。

○株式会社マストロ・ジェッペット

「Wood4Good」ブランドホームページ

<https://www.mastrogeppetto-jp.com/w4g>
(森林林業部)



木の質感を活かしたBIJETTO（名刺入れ）

エコ農産物マークシールを提供しています

福島県では、「環境と共生する農業」を推進し、土づくりと化学農薬・化学肥料の使用を低減した農業を実践している生産者「エコファーマー」への支援に力を入れています。その一環として、「エコ農産物マークシール」を無料で提供しています。このシールは、販売作物に貼付し「持続性の高い農業」によって栽培された農作物であることを消費者にアピールするためのものです。通常は希

望される方に「エコ農産物マーク」を電子データで提供し、ご利用いただいておりますが、今回はシールで提供しますので、是非ご利用ください。

シールを希望される方は、南会津農林事務所農業振興普及部までお気軽にお電話ください。提供は5名まで、一人当たりの提供枚数は400枚です。無くなり次第終了となりますので、ご了承ください。

○お問い合わせ先：

南会津農林事務所農業振興普及部
電話：0241-62-5264(担当：東)



エコ農産物マークシール
(実寸大、直径約4cm)

通常のエコ農産物マーク電子データ申請書はこちらから（常時受付）

○「福島県環境と共生する農業」推進マークについて（環境保全農業課）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021d/kankyounougyou-343.html>
(農業振興普及部)

台風19号災害の各地復旧状況

令和元年10月12日（土）に福島県を直撃した台風19号は、南会津地域に土砂崩れをはじめとする大きな被害をもたらしました。しかし、復旧作業を行った施工業者の努力と関係者の協力により、今年5月末時点で被災水田の約97%において営農できる状態となりました。水稲作付けに間に合わなかった農地については、大豆やそばなどの作付けを行う予定です。

令和3年度には全ての水田で田植えができるよう、引き続き復旧工事を支援してまいります。
(農村整備)



下郷町楡原第2地区

(左) 2019年10月24日撮影（被災後）
(右) 2020年6月18日撮影（復旧後）

熱中症及び農作物の高温時対策 を行きましょう！

暑さが厳しくなるこれからの時期は熱中症に注意が必要です。特に外出時や野外での作業時、高齢者・乳幼児・体調のすぐれない方がおられるご家庭では、水分をこまめに補給し汗をかいたら塩分も補給する、カーテンで日射を遮る、室温に留意するなど、熱中症への対策をとってください。

農作業は暑い時間帯を避ける、休憩を頻繁に取る、通気性の良い作業衣等を着用する、なるべく日陰での作業ができるよう工夫するなどの対策をお願いします。

高温時の農作物の管理として、かん水は夕方から朝にかけての涼しい時間帯に行い、敷きわらや刈草でマルチをすることで土壤水分を保持しましょう。高温乾燥状態ではアブラムシ、ハダニ類等が発生しやすくなるため、農薬の使用基準を遵守して適期防除に努めましょう。ハウスでは側面と妻面をできるだけ開放し、風通しを良くしましょう。地温や水温の上昇により雑草の発生と生育も早まりますので、果樹では草刈り、水稻では除草剤を適期に散布しましょう。家畜や家禽類の暑熱対策としては、畜舎の換気や遮光を行う、細霧装置の噴霧や冷却水を与えることで家畜や家禽類の体温を下げる、発汗により失われるミネラルを多めに補給する等を行ってください。（農業振興普及部）



熱中症予防カード (出典：環境省)

カシノナガキクイムシの対策について

南会津地域ではナラやブナ等の広葉樹を枯らせてしまう「ナラ枯れ」の被害が発生していることから、ナラ枯れの原因である細菌を媒介する、カシノナガキクイムシの対策を行っています。

令和元年度は2つの対策を行いました。1つ目は予め薬剤を樹木に注入して被害を未然

に防ぐ「樹幹注入」で、予防接種のような防除対策です。景勝地である下郷町の塔のへつり地区と、只見町の奥会津ただみの森キャンプ場で実施しました。

2つ目は、丸太に誘引剤を塗布して誘い出したカシノナガキクイムシを駆除する「おとり丸太による誘引」です。ゴキブリ駆除剤のような駆除対策で、只見町内で3か所設置しました。多いところでは丸太1m³当り約18千個体（推定）が誘引され、被害の軽減が図られました。

広大な山林に散在するナラ枯れの被害を根絶することは困難ですが、保全すべき箇所には「樹幹注入」、被害の拡大を防止する箇所には「おとり丸太による誘引」と対策にメリハリを付けることで、今後も被害対策に取り組んでまいります。（森林林業部）



おとり丸太による誘引効果の調査
(挿入図) カシノナガキクイムシ (出典：国立研究開発法人
森林研究・整備機構 森林総合研究所)

あいづ“まるごと”ネット会員募集中！

福島県では、豊かな地域資源を生かし、地域力（人材、資源、伝統）を発揮しながら、1次・2次・3次産業が様々な形で連携・融合した新たな地域産業を創出することで地域の活性化を目指す「地域産業6次化」を推進しています。

会津・南会津地方においても、農林漁業者や商工業者等で構成されるネットワーク「あいづ“まるごと”ネット」を組織し、各種情報発信や交流会の開催等の活動を行っています。今号の記事でも6次化活動の中で実際に開発された商品を紹介しておりますので、ご覧ください。

また、会員向けメールマガジンでは各種助成制度や商談会・物産展の開催等、皆様に役立つ情報を提供しておりますので、是非会員登録をお願いします。なお、登録料・年会費はともに無料です。

○お問い合わせ先：南会津農林事務所企画部
電話 0241-62-5252

(企画部)

**キラリと光る南会津の6次化商品
～ホワイトアスパラドレッシング～**

南会津町田部地区にある(株)土っ子田島 farmでは、花きや野菜の生産、地元の野菜や果物を使った魅力あふれる加工品の製造販売のかたわら、新しい6次化商品開発にも取り組んでいます。原材料の「うまみ」を生かした加工品の数々はスーパー等でも販売されていますので、手に取られた方もいらっしゃるかもしれません。

今回ご紹介するホワイトアスパラドレッシングは、原料に甘みの強さで知られる南会津産アスパラガスを使用しています。非加熱・無添加で製造した“生”ドレッシングは濃厚な味で、少量でもサラダが進みます!また、食卓でも存在感を発揮するおしゃれなパッケージにも是非ご注目ください!

アスパラガス農家だからこそその素材にこだわったホワイトアスパラドレッシングは、土っ子田島ファームウェブショップより各地への発送も行っておりますので、是非ご利用ください。



ホワイトアスパラドレッシング

○土っ子田島ファームウェブショップ
<https://tutikko-webshop.com/>
注: 5月～10月の季節限定販売となります。

(企画部)

職員のつぶやき～南会津のうりん雑感～

この4月に南会津農林事務所に着任しました。この地で初めての単身赴任生活を楽しみにまいりましたが、コロナ禍ですっかり出鼻をくじかれてしまいました。

南会津地域は、大内宿、会津田島祇園祭、檜枝岐歌舞伎、尾瀬ヶ原、ウインタースポー

ツ等々、誰もが知る歴史と伝統、豊かな自然や文化に裏打ちされた観光資源を有し、また、福島を代表するブランド野菜「会津田島アスパラ」、「南郷トマト」、さらにはおいしいお酒やそばなど、書き尽くせない魅力に溢れています。そんな当地の魅力に可能な限り触れ、味わい、感じてみたい。原発事故以降、封印してきた溪流釣りも再開してみようかと思いは膨らみます。

今は人が集まる様々な行事やイベントの中止や縮小を余儀なくされていますが、この地域で感染が広がらないよう皆が頑張っており、しばらくは辛抱と手探りで対応が続きます。「新しい生活様式」を取り入れた交流の里南会津の新たな一歩に向け、私も微力ながら力を尽くしてまいります。

(企画部長 半沢伸治)

新型コロナウイルス感染症の支援情報

①南会津地域における相談窓口

南会津地域の農業・林業の経営相談に応じるとともに、対応可能な支援制度を紹介しています。

- ・農業に関すること

| | | |
|---------|----|--------------|
| 農業振興普及部 | 電話 | 0241-62-5644 |
| 南郷普及所 | 電話 | 0241-72-2243 |
- ・林業に関すること

| | | |
|-------|----|--------------|
| 森林林業部 | 電話 | 0241-62-5371 |
|-------|----|--------------|
- ・相談窓口の開設時間 8時30分～17時15分
(土日・祝日を除く)

②県また国の支援情報

○福島県庁農林企画課HP
「新型コロナウイルス感染症に係る情報」
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36005b/corona01.html>

○農林水産省HP
「新型コロナウイルス感染症について」
https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>
電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。